

製品名: TERT マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81494**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	127kDa

抗原情報

遺伝子名	TERT
別名	TP2; TRT; CMM9; EST2; TCS1; hTRT; DKCA2; DKCB4; hEST2; PFBMFT1
遺伝子 ID	7015.0
SwissProt ID	O14746
免疫原	大腸菌で発現したヒト TERT (AA: 1029-1132) の精製された組み換え断片。

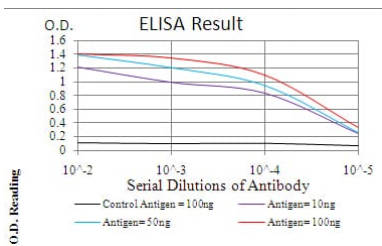
背景

テロメラーゼは、テロメアリピート TTAGGG を付加することでテロメア末端を維持するリボ核タンパク質ポリメラーゼである。この酵素は、この遺伝子によってコードされる逆転写酵素活性を持つタンパク質成分と、テロメアリピートの鋳型となる RNA 成分から構

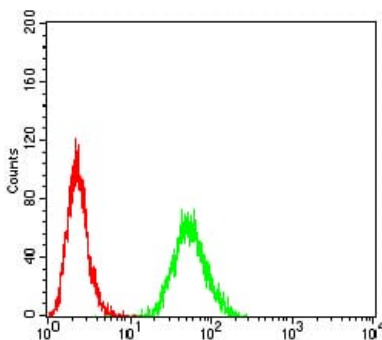
成される。テロメラーゼの発現は細胞老化に関与しており、出生後の体細胞では通常抑制されており、その結果テロメアが徐々に短縮する。体細胞におけるテロメラーゼ発現の調節異常は、がん発生に関与している可能性がある。マウスを用いた研究では、二本鎖切断部でテロメアリピートの新規合成が起こる可能性があるため、テロメラーゼは染色体修復にも関与していることが示唆されている。テロメラーゼ逆転写酵素の異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング変異体が同定されているが、一部の変異体の全長配列は決定されていない。この遺伝子座における選択的スプライシングは、テロメラーゼ活性の調節機構の1つであると考えられている。

研究分野

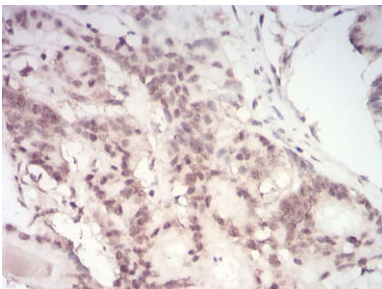
画像データ



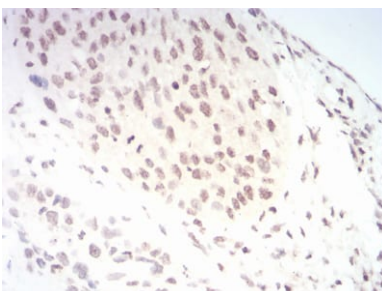
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



TERT マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色を伴う TERT マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



TERT マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。

